

曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

令和7年度 学校教育ビジョン中間評価

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。保護者・地域の皆様の御協力により、令和7年度も無事、前半を終えることができました。

当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「やる気と笑顔にあふれる子どもを育てる」を重点目標に教育活動に取り組んでまいりました。令和7年度前期の教育活動を振り返り、学校評価の中間報告をお知らせいたします。

1 令和7年度の学校教育ビジョン評価報告 (前期)

	評価項目	達成率	評価
学ぶことに 関心をもち、 課題を追 求する力の 育成(まなび PJ)	①授業で、分かったりできるようになったりして、学習することが「楽しい」と感じる。 (児童アンケート= No.1 以下：児ア No.○)	87.2%	A
	②生活科や総合的な学習で、課題について調べたり、みんなで考えたり、まとめて発表したりして学習することは楽しい。 (児ア No.3)	80.7%	A
	③生活科や総合的な学習で、地域のひと、もの、ことについて学習することは楽しい。 (児ア No.2)	89.0%	A
	④授業中タブレット (iPad) を使って、必要なことを調べたり、自分の考えをまとめたり、友だちに考えを伝えたりして学習することができている。 (児ア No.4)	87.2%	A
	⑤上記①～④についての方策・手立てに着手し、児童への必要な指導・支援を行っている。 (職員評価の総合評価)	83.1%	B
互いを尊重し、 協力して活 動する 力の育成(か かわりPJ)	①自分の学級では、みんなの話を大切に聞き合い協力して学習したり、助け合ったりしている。よりよい学級になるためにみんなで話し合い、めあてやきまりを決めて行動することで「学級がよくなってきている」と感じている。 (児ア No.8,9)	86.6%	A
	②自分とは感じ方考え方がちがっていても、友だちのよいところを見つけ、助け合いながら生活している。 (児ア No.19)	93.0%	A
	③なないる班の友だちとなかよく力を合わせて活動している。 (児ア No.10)	94.8%	A
	④自分から「おはようございます」や「こんにちは」などのあいさつをしたり、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたりして。 (児ア No.11)	93.6%	A
	⑤上記①～④についての方策・手立てに着手し、児童への必要な指導・支援を行っている。 (職員評価の総合評価)	93.3%	A
	①自分が成長するために、学習や生活のめあてをもって、どんなことにも精一杯取り組んでいる。 (児ア No.12)	88.4%	A
	②めあてに向かって、やるべきことを考えて、進んで取り組んでいる。 (児ア No.13)	87.8%	A

高い目標をもち、主体的に行動する力の育成(すこやかPJ)	③難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。 (新潟市生活学習意識調査で後期に実施)		
	④自分の健康について考え、テレビやゲーム、スマホやタブレットを使う時間に気をつけ、十分な睡眠を取るようになっている。体の成長や健康を考え、苦手でも少しずつ食べバランスのよい食事をするようになっている。どんなに遅くても夜10時(1~3年生は9時)までには寝るようになっている。(児ア No.14,15,17)	75.6%	B
	⑤上記①~④についての方策・手立てに着実に取り組み、児童への必要な指導・支援を行っている。(職員評価の総合評価)	79.4%	B
特別支援教育PJ	①曾根小スタンダード(UDLチェックリスト)に基づいて、どの子にも学びやすい学習環境を整備している。(職員アンケート) A=90%以上 B=80%以上 90%未満 C=Bに至らない	81.1%	B
	②「個別の教育支援計画」ならびに「個別の指導計画」の作成を通して、対象児童の教育的ニーズを詳細に把握し、適切な指導や必要な支援(合理的配慮)を行うことができている。(職員アンケート)	75.0%	B
	③自分とは感じ方や考え方がちがっていても、友だちのよいところを見つけ、助け合いながら生活している。(児ア No.19)	93.0%	A

※特別支援PJの①以外の評価基準は、達成率が80%以上=A、70%以上~80%未満=B、Bに至らない=C

2 分析及び後期へ向けて

まなびPJ	児童アンケートの「分かった、できた、学びが楽しい」は、87.2%でA評価となりました。全教職員が統一した意識をもって授業改善に取り組んだ結果が表れているといえます。個に応じた指導の充実も図りながら、継続して取り組んでいきます。また、「総合学習等で調べたり、まとめたりすることが楽しい」は、80.7%でやや低い結果となりました。中心となる活動が夏休み以降に集中しているため、後期の学習活動で充実を図っていきます。全国学力学習状況調査の結果から、基礎基本の定着は改善が見られました。引き続き、育成すべき資質・能力、(学びに向かう力、人間性、知識及び技能と思考力・判断力・表現力)のバランスのとれた指導を実施してまいります。
かかわりPJ	児童アンケート・教職員評価ともに達成率が高く肯定的な評価が多くなりました。今年度の取組が着実に進んでいるといえます。特に児童アンケートでは、縦割り班活動にかかわる評価が94.8%と高く、縦割りで行う清掃をはじめとする様々な活動の効果が現れているといえます。引き続き、異学年交流で、互いの良さを認め合う活動を進めていきます。学級に関する項目の達成率は86.6%でやや低くなりました。後期に向け「学級力向上プロジェクト」に着実に取り組み「学級力」を高めていきます。
すこやかPJ	「めあてを立て、それに向かって進んで取り組むこと」に関しては、児童アンケートの肯定評価が88%と高かったです。今後も努力の過程の評価とフィードバックを進め、さらに充実させていきます。「メディアに接する時間のコントロール、睡眠、バランスのよい食事等」については、児童アンケートの肯定評価が75.6%で低くなりました。後期は、家庭との連携を一層図りながら、保健指導を強化してまいります。また、教職員の「自己決定や自己選択の場を多く取り入れた活動の設定」についても達成率79.2%と低くなりました。児童が自ら選択・決定できる場を多く設けられるように、授業等を通して意図的・計画的に実施してまいります。
特別支援PJ	「ユニバーサルチェックシート」については、評価対象者を児童と接するすべての教職員に変更しました。(昨年度までは教員のみ)これが影響し、達成率は81.1%と低くなりました。今後、すべての教職員で共通理解を図り、徹底してまいります。基礎的環境整備と「個別の教育支援計画」等の活用に基づく合理的配慮の取組は着実に実施されています。後期でも引き続き着実な実施を進めます。児童アンケートの「多様性の理解と受容に関すること」の肯定的な評価は93.0%と高かったです。しかし、相手を受容できないことで起きる児童同士のトラブルは例年並みに発生しており、さらなる働き掛けが必要です。夏季休業中に、講師を招きインクルーシブ教育に関する研修を実施しました。障がいへの理解を深め、効果的な指導・支援について考える機会となりました。後期に向けて研修の内容を活かしてまいります。

R7 保護者アンケート「前期」 記述欄 ※◇ゴシック=回答(今後の方向等)

<p>学校生活全般</p>	<p>・良い事はしっかりと一人一人に伝えてくれて悪いことは悪いとしっかりと子供に伝えてくれるのでありがたいと思っています。</p> <p>・大変お世話になっております。毎日元気いっばいの笑顔で学校へ通い、楽しかったー！！と帰ってきております。たくさんの先生方からあたたかく見守っていただいているおかげだと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>・何かに挑戦しようとするこも増え、日々成長を感じています。先生方、周りの方のおかげだと思っています。ありがとうございます。</p> <p>◇ 教職員の励みになる温かい言葉をいただき、たいへんありがとうございます。曾根小学校の子どもたちの健やかな成長のために、今後も教職員が一丸となり、教育活動に取り組んでまいります。ともに子どもを育てるパートナーとして、ご協力をよろしくお願ひいたします。</p>
<p>こころの教育 生徒指導</p>	<p>・個人的な性格なことですが、少々内気なせい自発的に意見を言うことや積極性が少ない面があります。元気に積極的に楽しく学校生活を送れるよう今後ご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。</p> <p>◇ 学校では、すべての子どもが、安心・安全に楽しく過ごせるように努めています。また、自己肯定感や自己有用感の向上が、積極性につながることもあります。様々な教育活動を通して、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高められるようにしていきます。</p> <p>・子供達の自己肯定感を高めるような教育を進めて欲しい。小さくても成功体験を積めるような機会が学校でも多くあると良いと思う。</p> <p>◇ 学校では、様々な機会に子どもたちの自己肯定感を高められるよう進めています。授業、学校行事、たてわり活動などで、教師や友だちから認められたり、称賛されたりする機会を設けています。また、ふりかえりの機会を設定し、自己の成長を実感させるようにしています。ご家庭でも、お子さんの成長を認め、褒め、励ます機会をたくさん設けるようお願ひします。</p> <p>・『傍で見てて注意しなければ、やってる子と同じだよ』と言う伝え方はどうかな？と思ったこともありました。別の言い方があったのではないかと思いました。</p> <p>◇ ご指摘の件について、どのような場面での言葉であったか定かではありませんが、次のようなケースが考えられます。</p> <p>①いじめにつながる行為があった。</p> <p>②集団生活のルールやマナーから逸脱する行為があった。</p> <p>新潟市教育委員会作成の「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」には、いじめの被害者・加害者への支援・指導とともに、いじめの傍観者への支援・指導の必要性について、次のように書かれており、学校でもそれに基づいた指導を行っています。</p> <p>◇ はやし立てたり、見て見ぬふりをしたりする行為も、いじめ行為と同じであることを理解させる。</p> <p>◇ いじめをやめさせる、いじめを知らせる、話を聞く勇気をもたせる。</p> <p>また、学校では「自分に関係ない」「自分さえよければよい」という姿勢ではなく、他者に関心をもち、学級で起こったことを自分ごととして捉え、よりよい学級集団にするために考え、主体的に行動する姿を目指して教育活動を行っています。そのような意図から出た言葉であったと推察されます。ただし、そうであったとしても、指導場面の言葉は、子どもたちの指導の意味が伝わるように、誤解がないように吟味する必要があると思います。例えば「やっている子とどのように同じなのか」を分かりやすく伝えるなどです。ご指摘のあった点については指導のあり方を見直す材料とし、今後も子ども一人一人の「成長を促す指導」に努めてまいります。</p>
<p>家庭学習指導</p>	<p>・夏休みに希望者に特別学習があるとありがたいです。</p> <p>◇ 夏休みは長期休業期間にしかできない学習・体験をするための期間となります。また、そのために原則、家庭で過ごす期間となります。また夏休み期間中は職員研修等で手薄となるため、登下校の安全管理、出欠の確認など児童の安全に関することが手薄になります。このような理由から、夏休み中に登校して特別学習を行うのは難しいです。</p> <p>◇ 夏休みの意義は、心身の休養、通常の学校生活では経験できない生活や活動を通じた学び、自主・自律の態度の育成にあります。学校のカリキュラムに縛られず、自分の興味関心に基づいて自主的な学習や体験活動に没頭し、個性を伸ばす貴重な機会です。学校で準備した課題を活用しながら、ご家庭で学習計画を立て、進捗状況を管理しながら学習を進めていただければと思います。「確かな学力」は、学校の授業だけでなく、ご家庭での学習環境の整備や学習意欲を高める働き掛けなど、家庭の教育力により身に付くものと考えられます。</p> <p>また、昨今の猛暑により登下校中の熱中症の危険性や事件・事故に巻き込まれる可能性が懸念されています。さらに、長期休業中には学校内外の職員研修や会議が多く設定されており、対応できる教職員がそろわないという学校事情があるため、夏休みに「特別学習」の機会を設けることは難しいのが現状です。ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>・防災についての学習</p> <p>◇ 各当校では年間4回の避難訓練と6月の地震対応訓練(新潟市一斉訓練)に合わせての防災学習を実施しています。ただし、子どもたちが学校外(地域・家庭)にいるときに発災した場合や地域との連携に課題があります。</p>

	<p>学校が主体となって地域防災を行うのはマンパワーや予算の面で難しいですが、地域主体の防災訓練等に協力しながら、子どもたちの防災教育(学習)を充実させていくことは可能であると考えています。ぜひ、地域の皆様のご協力をお願いします。</p>
学校行事	<p>・文化祭前の灯籠作りが負担。学校や地域で取り組める場があると良い。</p> <p>◇ 「灯籠作り」は、今から153年前の曾根小学校開校に深く関わった「校祖」新保正興先生の遺徳を偲び、その教えに触れ、「愛校心」や「地域とのつながり」「地域の伝統と誇り」を感じることができる大切な行事です。時代の変化に伴い、従来の方法での実施は難しくなりましたが、かつては、曾根神社境内の天満宮に灯籠を飾るなど、盛大に行事が行われていました。学校行事というよりは、むしろ「校祖会」や「曾根神社」と連携して行われてきた、この地域特有の伝統行事であるといえます。</p> <p>多忙化する現代において、「多忙化の解消」「負担の軽減」の視点はとても大切ですが、子どもたちの心を育てる、真に価値ある活動・経験は、大切に受け継いでいきたいと思えます。</p> <p>曾根小学校は地域の大切な学校です。地域住民として曾根小学校の成り立ちに思いを馳せながら、ご家庭での「灯籠作り」にご協力いただければと思います。お仕事などでご多用のところ、ご負担をおかけし恐縮ですが、ご協力いただけますようお願いいたします。</p>
課教程育	<p>・年度末のことですが、次年度の年間行事がもう少し早くわかるとありがたいです。</p> <p>◇ 次年度の学校行事計画は、12月には案ができていますが、対外的な行事等の関係で、2月以降に行事日(参観日、個別懇談)や長期休業の開始・終了日等が変更になる場合があります。早めにお知らせすることも可能ですが、その場合は暫定版となり、行事の期日変更の可能性もあることを御了承ください。</p>
施設・設備	<p>・日々の授業や行事を楽しみに過ごしているようです。いつもありがとうございます。水筒で不便はありませんが、学校で水道水が飲めるようになることより安心だと感じます。</p> <p>◇ 日頃から水筒を持たせていただきありがとうございます。当校は、校舎の築年数がかなり経過しており、水道設備(水道管=鉄管)も古いです。飲用可能ですが、人によっては鉄臭さを強く感じる場合があります。今後も引き続き水道施設の改修について、行政に要望を出してまいります。改修完了までは、水筒の持参の御協力をお願いいたします。</p>
家庭・地域との連携	<p>・保護者会で担任の先生から学校での子供の様子が聞けるというより子供単体での様子しか聞けませんでした。(こちらも聞けばよかったのかもしれませんが。)その割合も2割ほどが良い所、他はあまり良くできていないことを言われ、若干落ち込んで帰宅しました。</p> <p>◇ 個別懇談会は、学校での指導や支援の仕方について、情報共有を図ることを目的に実施しています。おひとり10分程度と短い時間のため、お伝えする内容は、日頃の学習・生活の様子と今後の課題・改善点中心になります。保護者の方がお聞きになりたい内容と担任が伝える内容にずれが生じる場合もあるかと存じます。次回より、申込用紙に「お聞きになりたい内容」「取り上げてほしい話題」等をご記入いただけるようにいたしますので、ぜひご活用ください。</p>
その他	<p>・目まぐるしく変わる社会で教育や常識を教えることは非常に難しいと感じています。また、社会の制約も時代に合わなくなっている中で、誠実に対応をしていただいていると思っています。いつもありがとうございます。そんな中で、最近では30度を超える日は当たり前になってきました。正直、熱中症などが非常に心配です。水、お茶だけでなく、経口補水液的なものを持ち込めるようになると親としては安心できると思っています。ぜひ検討のほど、よろしくをお願いします。</p> <p>◇ ご提案ありがとうございます。おっしゃるとおり、近年の夏の暑さは、危険なレベルになってきております。熱中症対策として、日常的な水分補給は重要であり、当校でも水筒持参をお願いしております。ご提案のあった、経口補水液は、塩分(ナトリウム、カリウム等)が高濃度のため、日常飲用には適さないものです。現在、熱中症発症の疑いがある場合使用するために保健室に常備しております。また、スポーツドリンクはアルカリ性のため、金属製水筒の金属成分が溶け出す可能性が指摘されており、推奨されておりません。現在学校では激しい運動や炎天下での作業を伴う実習等は行わないようにしており、水筒の水かお茶での水分補給で十分です。もし、心配という場合は、水かお茶に少量の食塩を入れることで、塩分補給が可能です。ご検討ください。</p> <p>・子供が年々減少し、学校としての活動も過渡期だと思えますが、小さい地域なりの良さも活かしていただけたらと思います。</p> <p>◇ ご指摘の通り、児童数は減少傾向にあり、今後も大きく増加する見込みはありません。児童数が多かった時代にやっていた行事を継続するのは、マンパワーの面からも難しいです。逆に、小規模化が進むと「小回りが利きやすい」「児童を個別に見取りやすい」などの利点があります。地域と連携しながら利点を生かした教育活動を展開していきます。</p>

アンケートへのご協力、たいへんありがとうございました。

アンケートの集計結果等は、

曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

(文責 学校評価担当 佐藤智範)

